



いよいよ求人2

昨年この時期に5羽の燕の雛が無事巣立ったということを書いた。今年も楽しみにしていたところ、巣作りをするどころか、燕の姿自体を見なくなった。地球温暖化のせいにしてどうかと一瞬考えた。あまりにも怖すぎるのももう少し考えることにした。昨年との違いは何かと考えたら、私が住んでいる集合住宅の2階に住んでいた家族が引っ越しをして、私の家族一世帯のみになったということ思い出した。燕は天敵のカラスから雛を守るため、カラスが嫌がる人の出入りが多い所に巣を作るらしい。では、人間の近くならどこでもいいかという、巣作りに理解のない人間も、せっかく長い時間をかけて作り上げた巣を破壊する最強の天敵になりえる。燕は高い空から必死に共存できる人間を探しているということに気づいた。

いよいよ7月1日から求人票の受付が始まる。5月から6月にかけては、求人票を出す前に説明に来られる企業の方が多かった。お話をうかがう中で気づかされたのは、学校のHPが良く見られているということだった。特に、今年初めて米工に求人を出そうとしている企業は、しっかり米工を調べているという印象を受けた。

企業にとって、人を雇うということは、利益を生む可能性を得ると同時に大きなリスクを負うことでもある。昭和の時代のリスクなら「給料泥棒」程度で済んだかもしれない。しかし、近年のSNSの普及により一人の人間が発する破壊力は大きくなった。ひとりの人間がひとつの企業を完全破壊してしまう可能性もあるということである。企業も燕と同様に、この人が利益をもたらすのか、破壊をもたらすのかを必死で見極めようとする。

立場を逆にしても同じことが言える。就職するということは、人生の多くの時間をその企業のために使うということである。その報酬として利益がもたらされるのを期待するのだが、場合によっては、その人にとって大切にしているものの破壊をもたらす可能性もある。

従って、就職試験は両者の真剣勝負にならざるを得ない。3年生に言いたいのは、相手は真剣勝負の準備が既にできているということ。こちらも覚悟をして、真剣に準備する必要がある。しっかりと相手を見極めてほしい。

進路指導部 坂根 大司



【行事予定】7月6日(水) 壮行会

7日(木) 球技大会 (予備日: 7月11日)

19日(火)~21日(木) 午前: 授業 午後: 保護者懇談会

22日(金) SPI 模試 (3年)、基礎力診断適性検査 (1, 2年) (午前中のみ)

25日(月) 終業式

29日 (金): 中学生体験学習



米工 HP